

## 第5回 野洲市総合計画審議会 議事要旨

●日 時

令和8年1月19日(月) 15:00~16:20

●場 所

野洲市役所 本館3階 第1委員会室

●出席委員(各分野・各施策との関連順かつ委員区分順に記載※)

【分野1】	【分野2】	【分野3】	【分野4】	【分野5】
前田 利幸部会長 (リモート参加) 深津 昌江委員 三村 益夫委員 山本 博一委員 喜多 幸次委員 太田 信成委員 岩澤 政宗委員	内藤 紀代子副会長 (リモート参加) 堤 敏次委員 西谷 厚子委員 西村 孝子委員 富田 由紀子委員	塚本 礼仁部会長 木村 靖委員 清水 稔委員 北中 良幸委員 小島 朝子委員	新川 達郎会長 林 かずみ委員 山本 一郎委員 北村 真治委員 池田 奈津子委員 梅田 麻衣子委員	山本 幹夫委員 奥野 清委員

欠席：川端 文代委員、本田 亘委員(分野2)

※分野1：子育て・教育・人権、分野2：福祉・生活、分野3：産業・観光・歴史文化  
 分野4：環境・都市計画・都市基盤整備、分野5：市民活動・行財政運営

●事務局(市)

櫻本市長、井狩政策調整部長、松井政策調整部次長  
 (総合調整課)岡田課長、四谷課長補佐、市原

### ○会議概要

1. 開 会

2. 挨拶

…新川会長より挨拶  
 …開会にあたり井狩部長より挨拶

3. 報告事項

…(1)パブリックコメントの結果について

・令和7年11月26日(水)から12月16日(火)までの3週間で実施した結果、2名の方から3件のご意見をいただいた。

- ・1点目 子育て支援の充実に関するご意見
- ・2点目 自然環境の保全に関するご意見
- ・3点目 市街化区域の拡大に関するご意見

- ・いずれも、計画（案）の修正を要するものではなかったため、計画（案）に大きな変更はない。

#### 4. 答申

- ・新川会長から櫻本野洲市長に「第2次野洲市総合計画 後期基本計画（案）を答申

#### <各委員からひとこと>

部会長 (分野1)	分野1「子育て・教育・人権」では、活発な審議ができ、野洲を良くしたいという各委員の熱い思いに、大いに刺激を受けた。限られた時間ではあったが、委員や市職員の皆さんとともに議論できたことは、貴重な経験であった。
部会長 (分野2)	分野2「福祉・生活」を担当された皆さんには、多くの貴重な意見を寄せていただいたことに、心より御礼申し上げます。時代の変化とともに新たな課題も生じてくることと思われるが、本計画が市民の益となることを心より祈念している。また、将来の第3次野洲市総合計画を見据え、市民アンケートやパブリックコメントに加え、日々、クレームも含め市に寄せられる声をエビデンスとして蓄積し、次期総合計画に反映していく仕組みづくりについても提案させていただきたい。
部会長 (分野3)	分野3「産業・観光・歴史文化」では、委員の皆さんから忌憚のないご意見をいただいた。ご意見をいただいた委員各位、審議会後に意見を計画に反映していただいた事務局に御礼申し上げます。本計画や計画に記載のある取組等が、どのように実現されていくのか楽しみにしている。
部会長 (分野4・5)	<p>(分野4)</p> <p>特に環境と開発に関しては、自然環境や生活環境を維持しながら、一方で都市としての活力を一定維持していく必要がある。将来的には人口は減少していくが、将来への投資も行っていかなければならない。都市基盤整備は時間も費用も大きくかかるため、直ちに事業が進められないが、市と市民の方々が協力し維持管理をすることで、持続可能な地域に繋がっていくと思われる。</p> <p>(分野5)</p> <p>長年市民活動をされてきた団体の皆様の高齢化、市民の皆様の意識の変化もあり、活動団体がうまく機能していない現状がある。市民の活動の活性化や、団体の活力をどのように取り戻すか等、議論をさせていただいた。行財政運営について、収入を確保するためにどのような税収対策があるか等も議論をさせていただいた。</p> <p>いずれの分野においても、大変熱心にご議論をいただいた。議論してきた基本計画が、基本構想を実現できることを楽しみにしている。</p>
委員	簡単で分かりやすいために指標を使う意図は分かるが、政策の評価をすることを踏まえると、不足しているのではないかと。指標だけでは見えない課題がある。簡単な指標の評価で終わるのではなく、今後はEBPMといった証拠のある政策立案を行い、政策の効果について検証する必要があると思われる。
委員	後期基本計画では現状・課題に対して数値目標が設定されているが、「めざす姿」に対しての数値目標が必要ではないかと。審議会のあり方として、今の課題といった目先のものではなく、5年後を見据えた議論ができたら良いと思う。審議会の構成委員についても、市内だけでなく市外の方々といった外部の視点も必要である。また資料が膨大で

	あったため、市民の方々にも分かりやすいようなものにするのはどうか。
委員	総合計画と、関連している個別計画の整合性があることが重要である。また計画を策定して終わるのではなく、実行していただけるよう努めていただきたい。
委員	施策 3-2「農林水産業の振興」と、施策 4-1「均衡ある土地利用の推進」について、市街化区域の拡大をしていくうえで、市内の農地とバランスをとりながら、進めていただきたい。

#### 5. その他 …計画策定までのスケジュールについて説明

#### 6. 閉会

##### <閉会にあたり櫻本市長より挨拶>

市長	1年間にわたり、大変活発なご議論をいただき、心より御礼申し上げます。ご意見いただいたように、指標では見えない現状・課題があり、まちづくりは数値化できるものだけではない。最終的には市民の皆様が満足できることが重要であるため、指標に囚われずに各施策を進めていく必要がある。また第2次野洲市総合計画を策定してから5年の間で、新型コロナウイルスの蔓延、世界情勢の変化、物価高騰等あり、今や社会は予測できない状況になっており、計画を策定するのも難しくなっている。こういった状況においても、変化する市民ニーズを踏まえ、計画の進捗管理、アップデート等行い、各施策を推進していきたい。
----	--